

単元名 近世の日本と世界

配当時間 18時間

- 単元の目標 (1) 近世の日本の大きな流れについて、世界の歴史を背景に、時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 近世の日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などについて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したこととを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 近世の日本に関わる諸事象について、そこでみられる課題を主体的に追究しようとする。

標準的な展開例

11220103_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 中世と近世の将軍の建物を見比べたり、15世紀の世界と日本の動きを大観したりして、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>★中世と近世にはどのような違いがみられるのだろう。</p> <p>○中世と近世の絵を見比べる。</p> <p>○地図や年表を見て、近世の時代の流れや15世紀の日本と世界の様子を大観する。</p> <p>・近世の世界では、陸上にも海上にも貿易ルートができている。日本では、江戸幕府が成立したり、鎖国をしたりしている。</p> <p>○単元の学習問題をつかむ。</p> <p>●「近世」の日本には、どのような特色があるのだろう。</p> <p>○近世社会がつくられていく過程の概略を知り、学習計画を立てる。</p> <p>2 イスラム教とキリスト教の世界について調べる。</p> <p>★イスラム教とキリスト教の世界は、それぞれどのように発展したのだろう。</p> <p>○イスラム教の世界の発展の過程を調べる。</p> <p>○十字軍がキリスト教にもたらした変化を調べる。</p> <p>○宗教改革について調べる。</p> <p>・イスラム教世界と接触したキリスト教世界ではルネサンスや宗教改革などの変化が生じた。</p> <p>■イスラム教とキリスト教はどのようにアジアに広まったのだろう。</p> <p>3 一体化する世界について調べる。</p> <p>★なぜ、世界は一体化したのだろう。</p> <p>○ヨーロッパ諸国が新航路の開拓を進めた理由について調べる。</p> <p>○一体化する世界について調べ、それ以前の世界と比べて何が変わったのかを考えたり、説明したりする。</p> <p>・アジアやアメリカ大陸に植民地が生まれ、多くの先住民やアフリカ人が奴隷とされた。</p> <p>○ヨーロッパ人が世界に進出した理由を話し合い、小単元の学習のまとめをする。</p> <p>4 ヨーロッパ人が日本に来航する過程と織田信長の業績について調べる。</p> <p>★ヨーロッパ人の来航が社会を大きく変えることになったのは、なぜだろう。</p> <p>○鉄砲とキリスト教の伝来が与えた影響について調べる。</p> <p>■信長・秀吉の進めた政治は、社会をどのように変えたのだろう。</p>	<p>・教P. 106～P. 111</p> <p>・中世と近世の様子を比較して、近世の特徴をイメージし、それと同時に第4編の学習問題を明らかにするとともに、近世の時代の流れや15世紀の日本と世界の様子を大観させる。</p> <p>・教P. 108～P. 109の資料を用い、室町幕府と江戸幕府の将軍の建物を比較して、近世の日本に興味をもたせる。</p> <p>・教P. 110の年表を用い、戦国時代を経て安定した江戸時代が続いたことを時系列で捉えさせる。また、教P. 101の地図を用い、アジアとヨーロッパを結ぶイスラム商人の活躍を押さえ、交易の変化が世界を動かしていくことを確認する。</p> <p>【評】近世の日本と世界について調べたり、気付いたことや考えたことを発表したりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・単元を通して、政治、社会、文化、外交の面で、これまでの時代との違いを考えるようにさせる。</p> <p>・近世もまた武士が支配する社会であることやヨーロッパとの接触が近世社会の構築に影響したことを確認する。</p> <p>・教P. 112～P. 113</p> <p>・イスラム教やキリスト教が広まっていく過程に着目して追究させる。(推移)</p> <p>・イスラム教の世界は商人の活動を背景に東西の文化を取り入れた優れた文化を生み出し発展したことを理解させる。</p> <p>・ルネサンスとイスラム文化の関連を捉えさせる。</p> <p>・宗教改革が起こった原因とカトリックが海外布教に向かったことを捉えさせる。</p> <p>【評】イスラム教世界の発展を背景としたキリスト教世界の変化について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教P. 114～P. 115</p> <p>・ヨーロッパ人が航海や探検に乗り出した地域やその目的に着目して追究させる。(つながり)</p> <p>・ヨーロッパ諸国が直接アジアの産物を入手したいと考えたことを捉えさせる。</p> <p>【評】一体化した世界は、それ以前の世界と比べて何が変わったのかを考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教P. 116～P. 117</p> <p>・ヨーロッパ人の来航が統一事業に与えた影響に着目して追究させる。(推移)</p> <p>・教P. 116～P. 117の資料を用い、戦国大名が戦いに鉄砲を取り入れたり、鉄砲が国産化したことに変化に気付かせる。</p>

- 織田信長の統一事業について調べる。
 - ・桶狭間の戦い ・室町幕府の滅亡
 - ・長篠の戦い ・一向一揆との対決
 - ・安土城の築城 ・楽市・楽座令
 - ・キリスト教の保護
 - 鉄砲とキリスト教の伝来が、当時の日本社会に与えた影響について話し合う。
 - ・鉄砲は、織田信長によって使用され、全国統一の歩みを加速させた。
 - 5 豊臣秀吉による全国統一について調べる。
 - ★武士である秀吉が百姓や町人に対する支配を重視したのはなぜだろう。
 - 本能寺の変から全国統一までの過程を調べる。
 - 太閤検地について調べる。
 - 刀狩について調べる。
 - 秀吉がつくろうとした社会は、どのようなものかを説明する。
 - 6 豊臣秀吉の海外政策について調べる。
 - 南蛮図屏風を見て、気付いたことを発表し合う。
 - ★秀吉は東アジアにおける貿易を重視していたにもかかわらず、なぜ朝鮮を侵略したのだろう。
 - 東アジアの貿易について調べる。
 - 朝鮮への侵略について調べる。
 - 7 安土桃山時代の文化について調べる。
 - ★なぜ、豪華・雄大な文化が生み出されたのだろう。
 - 桃山文化について調べる。
 - ・屏風絵や障壁画 ・千利休
 - ・天守閣をもつ城 ・陶磁器
 - この時代の文化の特徴と、それが生み出された理由を調べる。
 - ・これまでの文化とは異なり、大名や町衆が担い手となっている。仏教の影響が小さく、豪華・雄大な文化である。
 - 学習を振り返り、小単元のまとめをする。
 - 8 江戸幕府の成立について調べる。
 - ★江戸幕府は、どのようなしくみで全国を支配しようとしたのだろう。
 - 徳川家康による全国支配確立の過程について調べる。
 - 江戸幕府について調べる。
 - ・大名配置 ・徳川氏の系図
 - ・江戸幕府のしくみ ・武家諸法度
 - 江戸幕府が長く続いた理由を調べる。
 - ・幕府の圧倒的な経済力と、大名をはじめとするその他の勢力へ厳しい統制を行ったから。
 - 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
 - なぜ江戸幕府の支配体制は安定していたのだろう。
 - 9 江戸幕府が行った鎖国について調べる。
 - ★なぜ幕府は、鎖国へと対外政策を変えたのだろう。
 - 鎖国政策をとった前後の状況について調べる。
 - 幕府にとっての鎖国の意義を考えたり、話し合ったりする。
 - 10 江戸幕府と隣接地域との関係とアイヌ文化について調べる。
- ・織田信長が愛知県民にとって身近な人物であることを押さえる。
 - 【評】ヨーロッパ人が伝えた鉄砲とキリスト教が、日本の社会に与えた影響を考えたり、表現したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
 - ・教P. 118～P. 119
 - ・太閤検地と刀狩が、何をどのように変化させたのかに着目して追究させる。（比較）
 - ・太閤検地の前後で、どのような違いが生じたのかをつかませる。
 - ・刀狩の目的を捉えさせ、兵農分離が進んだことを理解させる。
 - ・中世との違いに留意させ、身分と職業が固定された「近世社会」のしくみが整えられたことを理解させる。
 - ・教P. 120～P. 121
 - ・教P. 120の資料を用い、南蛮貿易や南蛮文化に関心をもたせる。
 - ・秀吉の政治と経済に対する考え方や課題に着目して追究させる。（つながり）
 - ・秀吉は倭寇を禁じて貿易を盛んにする一方、アジアの盟主になろうとしていたことを押さえる。
 - ・教P. 121の資料を用い、朝鮮侵略と抵抗の様子を理解させる。
 - ・朝鮮への侵略が、豊臣政権にもたらした影響についても考えさせる。
 - ・教P. 122～P. 123
 - ・桃山文化と室町文化の特徴や、主な担い手の違いに着目して追究させる。（比較）
 - ・絵画、芸能、建築、工芸などの項目別に整理し、それぞれの特色や背景をまとめさせることで、この時代を動かしてきた大名や豪商の存在を捉えられるようにさせる。
 - ・成立した時期、担い手の階層、全体的な特徴の三つの点から整理させる。
 - 【評】この時代の文化が大名や豪商などの町衆たちに支えられた文化であることを調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。
 - ・信長・秀吉の政治により、社会がどのように変化したのかについてまとめる。
 - ・教P. 126～P. 127
 - ・江戸幕府の財政や大名統制に着目して追究させる。（つながり）
 - ・教P. 126の年表を用い、武力で他氏を抑えていったことを捉えさせる。
 - ・教P. 127の資料や本文を用い、大名のみならず、その他の勢力へも厳しい統制を図ったことを捉えられるようにする。
 - 【評】江戸幕府による大名支配に関する政策の内容やその目的を調べまとめる活動を通して「知識・技能」を評価する。
 - ・参勤交代など、家光の業績について簡単に触れる。
 - ・教P. 128～P. 129
 - ・江戸時代が始まった頃の貿易、宗教、情報に着目して追究させる。（つながり）
 - ・教P. 128の資料を用い、朱印状が何に使われていたのかを考えさせる。
 - ・教P. 129の年表を用い、キリスト教の禁止と鎖国の流れを捉えさせる。
 - ・鎖国下においても中国とオランダと貿易が行われていたことを押さえる。
 - ・政策転換前後における貿易、宗教、情報の三つの側面の関係性を捉えさせる。
 - ・教P. 130～P. 133

- ★幕府は、朝鮮、琉球、蝦夷地などと、どのような関係をもったのだろう。
○鎖国下のアジア地域との関係を調べる。
- アイヌの文化について調べる。
- 幕府がそれぞれの地域とどのような目的で交流していたのかを考える。
- 11 江戸時代の百姓と町人について調べる。
★江戸時代の社会は、どのような特色をもっていたのだろう。
○武士や百姓、町人、「えた」や「ひにん」身分の人々の暮らしについて調べる。
- 江戸時代の身分制について調べる。
- それぞれの身分がどのような社会的な役割を担っていたのかを考えたり、説明したりする。
・武士は支配者として高い身分とされ、治安維持や行政裁判の役割を担った。
- 12 江戸幕府のライバル対策を通して、中世から近世への変化を考える。
★江戸幕府のライバル対策を通して、中世から近世への変化を考えよう。
○江戸幕府が様々な勢力に対して行った政策について調べる。
- 江戸幕府が諸勢力に対して行った政策のねらいを考えたり、まとめたりする。
○中世の武家政治と比較しながら、近世社会の特色を考えたり、話し合ったりする。
○学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 13 江戸時代の産業と交通網の発達について調べる。
★江戸時代の産業や交通は、どのように発達し、社会はどのように変化したのだろう。
○農業の発達について調べる。
- 漁業、鉱業、林業について調べる。
- 都市の発展と交通網の発達について調べる。
・技術の進歩により、諸産業が発達した。それに伴い、都市が発展したり、交通網の整備が進んだりした。
- 小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
■なぜ都市を中心とした町人文化が形成されたのだろう。
- 14 江戸時代前期の文化と学問について調べる。
○江戸時代の人々の楽しみについて考える。
- ★江戸時代前期には、どのような特色をもった文化や学問が発展したのだろう。
○元禄文化について調べる。
・近松門左衛門 ・井原西鶴
・松尾芭蕉 ・菱川師宣
- 江戸時代中頃までの学問と教育の状況について調べる。
・社会の安定や諸産業の発達を背景として、庶民の間でも寺子屋で読み・書き・そろばんを学ぶようになるなど教育水準が高まった。
- ・幕府、藩、隣接地域の関係に着目して追究させる。(つながり)
・教P. 130～P. 131の資料を用い、朝鮮と国交を回復したことや琉球王国を征服したことを読み取らせる。
・対馬、薩摩、松前の各藩を通して、朝鮮、琉球、蝦夷地との関係を保持していたことを捉えさせる。
・教P. 132の資料を用い、信仰、くらし、交流の項目から、アイヌ文化が成熟していたことを理解させる。
- ・教P. 134～P. 135
・江戸時代の人々の身分と役割に着目して追究させる。(つながり)
・被支配階級として百姓が年貢を納め、武士の生活を支えていたことを押さえる。
・教P. 135の資料を用い、商人と職人のくらしについて調べさせる。
・家制度や江戸時代の女性たちの様子についても触れる。
【評】江戸時代の社会の特色について、身分ごとの役割を考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 136～P. 137
- ・教P. 136の資料1～4を用い、天皇・公家、大名、寺社、百姓、外国の視点から調べさせる。
・教P. 137の「江戸時代のライバル対策」の表に調べて分かったことをまとめさせる。
・前時までの学習を想起させるため、教科書やノートなどで振り返るよう促す。
・教P. 137の「私が考える中世から近世への時代の変化」に自分の考えを記述させる。
・江戸幕府の支配体制が安定していた理由について、自分の考えをまとめさせる。
・教P. 138～P. 141
・新田開発や新しい技術が開発されたことの影響に着目して追究させる。(つながり)
・教P. 138の資料や本文を用い、新田開発や新しい技術により、田畑の面積や米の生産量が増えたことを理解させる。
・教P. 139の資料を用い、鉱業と漁業が発展したことについて、他地域や他国とのつながりからも捉えさせる。
・教P. 140の資料を用い、産業の発達と交通網の整備、都市の発展の関係を考えさせる。その中で、「半田(愛知県)の酢づくり」にも触れ、当時の様子をよりよく捉えさせる。
【評】江戸時代に産業が発達した原因や結果について考えたり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- ・教P. 142～P. 145
・歌舞伎の資料は、観客の身分や性別に着目して読み取るようにさせる。
・時期、場所、担った人々に着目して追究させる。(つながり)
・上方を中心に、町人が担い手となって発達したことを捉えさせる。
- ・教P. 144の資料を用い、全国に藩校があり、愛知県名古屋市にも「明倫堂」という藩校があったことに触れる。
・前時までに学習した内容を踏まえ、元禄文化

- 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 15 江戸幕府の政治の改革について調べる。
 - ★ 財政難を克服するために、幕府はどのような対策を行ったのだろう。
 - 徳川綱吉の政治について調べる。
 - ・ 質を落とした貨幣の発行
 - ・ 生類憐れみの令
 - 幕府政治の改革により、人々の生活はどのように変化したのだろう。
 - 享保の改革について調べる。
 - ・ 徳川吉宗
 - ・ 新田開発
 - ・ 目安箱
 - ・ 公事方御定書
 - 田沼意次の政治について調べる。
 - ・ 株仲間の公認
 - ・ 印旛沼（千葉県）の干拓
 - 寛政の改革について調べる。
 - ・ 松平定信
 - ・ 百姓の出かせぎの制限
 - ・ 旗本、御家人の借金の帳消し
 - 徳川吉宗や松平定信の改革と、田沼意次の改革との違いを考える。
 - ・ 徳川吉宗と松平定信の改革が農業を重視し、倹約に努めたのに対し、田沼意次の改革の内容は、商業を重視した政策であった。
- 16 農村の変化と民衆の動きについて調べる。
 - 問屋制家内工業と工場制手工業の二つの絵を比べて、気付いたことを発表し合う。
 - ★ 江戸時代後半には社会はどのように変化したのだろう。
 - 農村のくらしの変化について調べる。
 - 百姓一揆と打ちこわしについて調べたり、それらが多発した要因について考えたりする。
 - ・ 年貢が重くなったり、ききんが起こったりして生活が困難になったため、百姓一揆や打ちこわしが増えた。
- 17 江戸時代後期の学問と文化について調べる。
 - 「伊能忠敬の日本地図」を見て、気付いたことや考えたことを発表し合う。
 - ★ 江戸時代後期には、どのような学問や文化が発達したのだろう。
 - 国学と蘭学について調べる。
 - ・ 本居宣長
 - ・ 杉田玄白
 - ・ シーボルト
 - ・ 伊能忠敬
 - 化政文化について調べる。
 - ・ 狂歌、川柳
 - ・ 喜多川歌麿
 - ・ 葛飾北斎
 - ・ 歌川広重
 - ・ 瓦版
 - 学習を振り返り、小単元の学習のまとめをする。
- 18 学習を振り返り、単元の学習のまとめをする。
 - ★ 単元の学習問題について、自分の考えをまとめよう。
 - 学習したことを年表や地図を使って振り返る。
 - 「幕府の収入」に着目して、近世の特色を調べる。
 - 学習問題について話し合ったり、自分の考えをまとめたりする。
 - ・ 近世の社会は、商品の生産、流通、販売といった商品経済が発達した。
 - 明治時代の資料を見て、気付いたことを話し合い、次の単元の見通しをもつ。

が発達した要因についても考えさせる。
 【評】元禄文化が上方を中心に町人が担い手となって発達したことや、武士や庶民にも学問が広まったことについて調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 教P. 146～P. 147
- ・ 幕府の財政難の原因に着目して追究させる。（つながり）
- ・ 教P. 146の資料を用い、幕府の財政の悪化や金の含有率に着目させる。

・ 賄賂が盛んになって政治が乱れたことや天明のききんが重なり、田沼意次は老中の座を追われたことを捉えさせる。
 ・ それぞれの改革についてまとめる中で、徳川吉宗や松平定信の改革と、田沼意次の改革とはどのような違いがあるかを考えさせる。
 【評】江戸幕府による諸改革の内容や結果について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。

- ・ 教P. 148～P. 149

・ 社会の変化と民衆の動きに着目して追究させる。（つながり）
 ・ 貨幣経済の浸透に伴い、自給自足の生活が大きく変化したことや小作人と地主の階層分化が進んだことなどを捉えさせる。
 ・ 教P. 149の資料を用い、百姓一揆や打ちこわしの発件数と気候との関連に気付かせる。
 【評】百姓一揆や打ちこわしの件数が増えた要因について考えたり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
 ・ 教P. 150～P. 153

・ 時期、場所、担った人々に着目して追究させる。（つながり）
 ・ 国学と蘭学が広まったことと、これらの学問が社会に与えた影響を理解させる。

・ 江戸を中心に民衆が担い手となって発展したことを捉えさせる。
 ・ 元禄文化との違いを、当時の社会情勢の変化に着目して考えさせる。

- ・ 教P. 156～P. 157

・ 教P. 156の資料を用い、近世の日本と世界の特色についてまとめさせる。年表では、日本とヨーロッパの動きを時系列で捉えさせる。
 ・ 教P. 157の資料を用い、幕府政治の改革について、表を使って整理させる。
 【評】これまでの学習活動を踏まえ、近世の特色について話し合ったり、自分の考えをまとめたりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
 ・ 「日本の近代化」の学習に関心をもたせる。

【 備 考 】